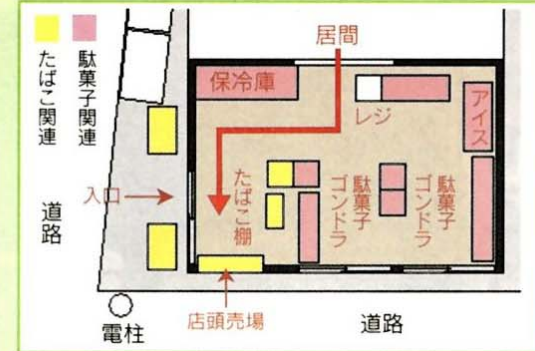


再起を期し、建て替えへ Rたばこ店は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の震度6強の激震により、店舗は大規模半壊と認定され、店内のアクリル什器は破損し、足の踏み場のないほど商品が飛散した。また、建物のいたるところに亀裂（ヒビ）が走り、度重なる余震で外壁の倒壊が懸念されるほど。ご主人は建て替え（新築）を決意し、「震災がなければ建て替えしなかった。この機会に心機一転、たばこ販売に力を入れたい。そのため現状の問題点を洗い出し、大幅な改善を加えてお客様本位の新店舗で再出発したい」と心意気を語る。

【立地】最寄駅より徒歩10分の住宅地。比較的交通量の多い角地の店舗であり、駄菓子やパンも扱う兼業店。

現状診断



車で来店するお客様が多い当店は駐車場がなく、他店駐車場や道路に停めるなど、迷惑駐車となっているようです。

自販機が間口の半分を塞ぎ、店内で手売りをアピールするには、障害となっています。

店頭売場は車道に近く、車の進行方向からは電柱の死角にもなり、危険が伴います。

居間から対応の際、店頭売場や店内売場が什器で死角になっています。また、レジ位置も奥にあり、お客様を待たせない工夫が必要です。

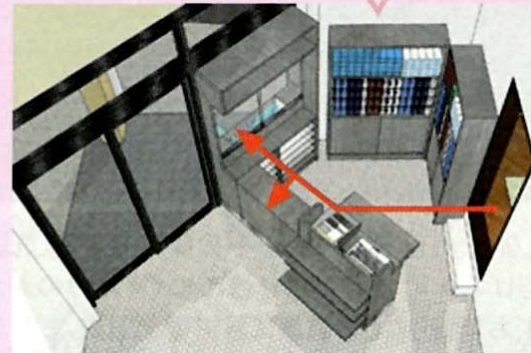
ハウスメーカープランをベースに、現状を大幅に改善したプランを作成しました。

建物を隅切りにし、店内入口と店頭売場を設けることで、両方向からのお客様に対応できます。電柱から離れた位置にもなり、視認性がアップします。

建物をセットバックすることで横付駐車スペースを確保し、一時的な駐車が可能となります。

居間から店頭売場へ迅速に対応できる動線を確認し、同時に店内のお客様にも対応可能な什器構成です。

改善提案



居間例

